

MIYASHITA PARK (ミヤシタパーク)

2020.09.30

坂村大地

1. 概要

- ・名称：ミヤシタパーク
- ・所在地：東京都渋谷区神宮前
- ・敷地面積：約 10740 m²
- ・延床面積：約 46000 m²
- ・店舗面積：約 7913 m²
- ・全長：330m
- ・店舗数：90 店舗
- ・構造規模：商業棟

南街区 1 階～ 4 階 (15922 m²) S 造

北街区 1 階～ 3 階 (10649 m²)

S 造、SRC 造、RC 造

ホテル棟 4 ～ 18 階 (240 室)

駐車場 375 台



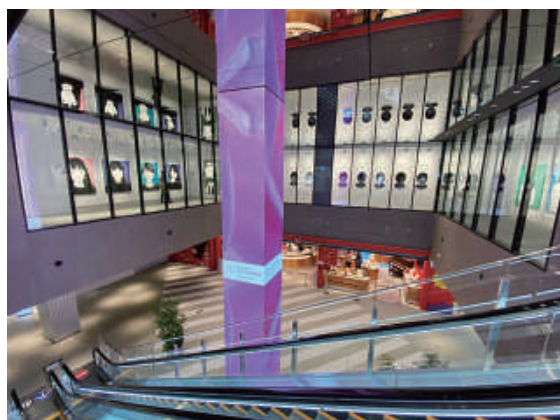
2. 事業内容と目的

1948年に宮下公園が誕生してから、1966年に下に駐車場、上に公園を持つ空中公園として整備され、大きな話題を集めた。しかし、建設から半世紀を経て老朽化や耐震不安などが生じる中、安心安全な環境へと整備し、街のさらなる賑わいを創出するべく、ミヤシタパークが計画された。駅再開発と連携する駅と公園のアクセス強化、防災意識の高まりや来街者の増加といった社会変化への対応が求められていることから、民間のノウハウも活用して、渋谷区立宮下公園がさらに魅力的な「広域利用公園」となるように、商業施設、公園、駐車場、ホテルが一体となった新しい低層複合施設が生まれた。

3. 滞在空間、空間構成

人が多くなりやすい日曜日に実際にミヤシタパークを訪れて、人がどのように滞在しているかなどを調査してきた。時間は主に午前中からお昼あたりまでで調査した。

屋内

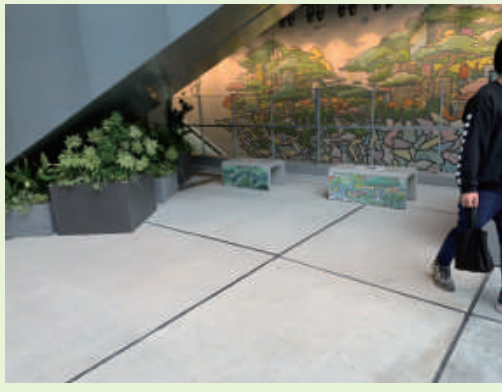


吹抜けを設けて空間の広がり演出。
天井をガラスにすることで視覚的な
楽しさがある。



お店を通路の真ん中にも設置していた。
人の行き交いが多いと感じた。

屋外



人が滞在できるような空間が多いと感じた。座れる場所を独立させたり、段差を付けたりしてパーソナルスペースを確保していた。街中にある公園を意識したようなデザインのものが多かった。



屋上にはより多くの滞在できるスペースがあった。ベンチに座っている人や、芝生の上にレジャーシートを敷いて雑談を楽しんでいる人が多くみられた。また、元々宮下公園に設置されていたボルダリングやスケート場はそのまま受け継がれており、宮下公園の良さを活かしているように感じた。屋上がやはり1番人が多いため活気にあふれていた。



さらに屋上にはカフェが設置されており、若者から幅広い世代まで利用しやすい空間となっていた。自分が訪れた時はここでイベントが開かれており、様々な屋台が開かれており、地域の交流の場として活気あふれていた。また、1階の部分は渋谷横丁という名でお店が並んでおり、お店の中はもちろん、外の席まで料理やお酒をたしなむ人で賑わっていた。夜はさらに賑わうことが予想され、仕事帰りの人も立ち寄りやすい位置に配慮されていると感じた。

4. 感想

新プロジェクトとしてできたミヤシタパークだが、商業施設や公園を一体化させたのはとても良かったと思う。一体化させたことで幅広い世代の人が利用できるようになり、世代を超えた交流もできるようになった。流行のブランドなども多く入っており、若い人を多く来客させることで、今後はさらに認知されるようになって活気もあふれていくと思う。限られた土地の中で立体的な都市空間を形成することはこの先重要になってくると思う。

参考文献

- ・【渋谷】「ミヤシタパーク」全貌紹介 <https://travel.navitime.com/ja/area/jp/guide/NTJmat0928/>
- ・宮下公園等整備事業 <https://www.shibuyabunka.com/phone/special/201704/f/>
- ・三井不動産「MIYASHITA PARK」2020年6月グランドオープン
<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2020/0120/index.html>
- ・レイヤードミヤシタパーク 宮下公園 <https://shutten-watch.com/kantou/6501>